

2023

5

東京フィルの

# 午後の コンサート。

chie id.



## 第29回 平日の午後のコンサート

2023年5月1日(月) 14:00開演  
東京オペラシティ コンサートホール  
〈春のイチバン〉

## 第17回 渋谷の午後のコンサート

2023年5月7日(日) 14:00開演  
Bunkamura オーチャードホール  
〈マエストロ・ズーカーマン!〉



©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます  
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを  
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

---

オフィシャル・サプライヤー

---

**SONY**

**Rakuten**

**マルハニ**

**LOTTE**

**ゆうちょ銀行**

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第29回

# 平日の 午後のコンサート。



2023.5.1(月) 14:00開演 東京オペラシティ コンサートホール

Mon. May 1, 2023, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

## 〈春のイチバン〉 〈The Opening Wind of Spring〉

指揮とお話 角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

ピアノ 五十嵐薫子\* Kaoruko Igarashi, piano

コンサートマスター 依田真宣 Masanobu Yoda, concertmaster

モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲(約5分)

Mozart: Overture from opera "The Marriage of Figaro" (ca. 5 min)

リスト：ピアノ協奏曲第1番\* (約20分)

Liszt: Piano Concerto No. 1 (ca. 20 min)

— 休憩 intermission —

シューマン：交響曲第1番『春』(約32分)

Schumann: Symphony No. 1 "Spring" (ca. 32 min)

エルガー：行進曲『威風堂々』第1番(約8分)

Elgar: Pomp and Circumstance No. 1 (ca. 8 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団 / Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra

### ◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Hold applause please. Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

## 出演者プロフィール

### 指揮とお話 角田鋼亮

Kosuke Tsunoda, conductor & speaker

東京藝術大学大学院指揮科ならびにベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ブランデンブルグ交響楽団、札幌交響楽団、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、九州交響楽団等と共演している。大阪フィルハーモニー交響楽団および仙台フィルハーモニー管弦楽団の指揮者のポジションを歴任。現在、セントラル愛知交響楽団常任指揮者を務めており、いま日本で最も期待される若手指揮者の一人として活躍の場を拡げている。2019年「令和元年度愛知県芸術文化選奨文化新人賞」、2020年「名古屋市文化振興事業団第36回芸術創造賞」を受賞。



©Hikaru Hoshi

### ピアノ 五十嵐 薫子

Kaoruko Igarashi, piano

2022年ジュネーブ国際音楽コンクール ピアノ部門第3位。日本音楽コンクール ピアノ部門第3位、併せて最も印象的な演奏に贈られる三宅賞を受賞する他、ピティナ・ピアノコンペティションB級・特級、ショパンコンクールin ASIA、日本ショパンコンクール他数々のコンクールで優勝、入賞。桐朋学園大学を首席で卒業し、皇居・桃華楽堂での御前演奏会に出演。室内楽も積極的に行なっており、徳永二男氏や長谷川陽子氏等と共演している。また、ピアノ共演により2020年日本音楽コンクールにて審査員特別賞を受賞。2010年、2014年桐朋学園特別奨学生、2014～2015年明治QOL奨学生、2016年メンデルスゾーンアカデミー（ドイツ）奨学生、2018、2019RMF奨学生等。



©井村重人

## プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

## 春のおとずれを告げる「第1番」

「春一番」といえば春先に初めて吹く南寄りの強風のこと。気象庁の定義によれば、関東地方の場合、最大風速が秒速8m以上の強風が「春一番」に認定されるのだそうです。これは灌木が揺れるくらいの強風といいますから、なかなかの強風です。本日の公演は、題して「春のイチバン」。シューマンの交響曲第1番『春』を筆頭に、3曲の「第1番」がプログラムに並んでいます。いずれも「春一番」に負けなくらいのエネルギーで暖かな風をコンサートホールに運んでくれることでしょう。

指揮の角田鋼亮はセントラル愛知交響楽団常任指揮者を務める若手の実力者。ピアノの五十嵐薫子は2022年にジュネーヴ国際音楽コンクールのピアノ部門で第3位に入賞して話題を呼んだ新星です。春にふさわしいフレッシュな演奏を期待できそうです。



明晰かつ情熱的な指揮に、親しみやすい語り口も人気の高いマエストロ角田鋼亮

©上野隆文



## 喜びにあふれる軽快な序曲

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)



が、ウィーンで名声の絶頂を迎えていた頃にした傑作が歌劇『フィガロの結婚』。原作はボームルシェの喜劇です。小間使いのスザンナが領主のアルマヴィーヴァ伯爵から誘惑されるも、婚約者フィガロとともに機転をきかせて伯爵を出し抜き、幸福な結婚へと至るまでが描かれます。今風にいえば「ラブコメ」ということになるでしょうか。

幕開けに演奏される序曲は、小気味よく軽快。はちきれんばかりの喜びにあふれています。オーケストラのコンサートでもよく単独で演奏される人気曲です。

## 19世紀音楽界のスーパースターの代表曲



卓越した技術を持つ名人演奏家を「ヴィルトゥオーゾ」と呼びます。ピアニストで歴史上最大の「ヴィルトゥオーゾ」はだれかと問われたら、**フランツ・リスト** (1811-1886) と答えるしかありません。その華麗な超絶技巧とステージ上のふるまいは、聴衆を熱狂の渦に巻き込みまし



リストの故郷ハンガリーの首都ブダペストの風景

©stock.adobe.com

た。リストの演奏に接して失神するご婦人方もいたといえますから、リストは19世紀音楽界きってのスーパースターだったといってもよいでしょう。

そんなリストが**ピアノ協奏曲**を作曲したのは、もちろん自分自身が演奏するため。ピアノ協奏曲第1番は早くからスケッチが書かれ、1835年にひとまずの完成をみます。この時点では伝統的な3楽章構成の協奏曲でしたが、その後、単一楽章の構成に改訂されます。さらに数度にわたる改稿を経て、1855年によりやく作曲家自身のピアノとベルリオーズの指揮によってヴァイマルで初演されました。つまり、20年以上もの年月をかけて完成された労作ということになります。

全曲は切れ目なく続けて演奏されますが、4楽章構成とみなすことができます。

**第1楽章 アレグロ・マエストーソ** 弦楽器による重々しく決然とした主題で開始され、独奏ピアノが絢爛たるパッセージを奏でます。

**第2楽章 クワジ・アダージョ** ゆったりとした幻想的な楽想がくりひろげられます。優美なピアノはノクターン風。

**第3楽章 アレグレット・ヴィヴァーチェ** スケルツォに相当する楽章。協奏曲では珍しく、トライアングルが用いられています。初演当時の批評家はこの曲を「トライアングル協奏曲」と呼んで揶揄したといいますが、きらきらとした音色はピアノとの相性も抜群。第1楽章冒頭の主題が力強く再現し、終楽章へと向かいます。

**第4楽章 アレグロ・マルチアーレ・アニマートープレスト** 軽快な行進曲調で開始され、これまでに登場した主題を用いながら、華麗なクライマックスを築きます。

## 人生の「春」の喜びに満ちた交響曲

1840年、**ロベルト・シューマン** (1810-1856) はクララと結婚します。結婚に反対するクララの父と激しい法廷闘争を経た末に、ようやく実現した結婚でした。

その翌年1月、シューマンは詩人アドルフ・ベトガーによる詩の一節「おお、





クララ・シューマンの肖像

変えよ、変えよ、お前の行く手を／谷間に春が萌える」に触発されて、交響曲を書きはじめました。スケッチはわずか4日間で集中的に書き上げられ、約1か月でスコアが仕上げられたといえます。クララとの結婚とベトガーの詩から受けたインスピレーションに後押しされて、はじめての交響曲となる**交響曲第1番『春』**が誕生しました。

当初、各楽章には標題が添えられていました。第1楽章「春のはじまり」、第2楽章「夕べ」、第3楽章「楽しい遊び」、第4楽章「春らんまん」。最終的にシューマンはこれらの標題を破棄してしましますが、作曲者が楽曲にどんなイメージを託していたのかが伝わってきます。

**第1楽章 アンダンテ・ウン・ポコ・マエストーソーアレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ** 冒頭のトランペットとホルンによるファンファーレは、前述のベトガーの詩句のリズムに添ったもの。劇的な序奏に続いて、弾むような主題が登場します。春の喜びにあふれる一方、シューマン特有のほの暗い情熱も感じられるのではないのでしょうか。

**第2楽章 ラルゲット** 弦楽器による憧憬に満ちた主題は、シューマンの書いたもっとも美しい旋律かもしれません。

**第3楽章 スケルツォ モルト・ヴィヴァーチェ** 一般にスケルツォとはユーモアのある曲を指しますが、シューマンのスケルツォには満たされない熱い想いが感じられます。

**第4楽章 アレグロ・アニマート・エ・グラツィオーソ** 勢いのある短い序奏に続いて、少しおどけた調子の主題があらわれます。中盤でホルンの呼びかけにこたえるのはフルート。軽やかに春の息吹を伝えます。最後は喜びを爆発させて、力強く曲を閉じます。



## 日本でもおなじみ、イギリスの「第二の国歌」



イギリスの作曲家**エドワード・エルガー**（1857-1934）の代表作が**行進曲『威風堂々』第1番**。エルガーはいかにも英国的な威厳と気品のある作風の持ち主でしたが、この行進曲も大英帝国の栄光を象徴するような絢爛たる名曲です。「威風堂々」とは、周囲を圧倒するような威厳にあふれた様子をあらわす言葉。シェイクスピアの「オセロ」に登場するセリフの一節、Pomp and Circumstance に由来する題名です。

曲の冒頭は勢いよく晴れやかに開始されます。小気味の良いリズムが特徴的な2拍子の行進曲ですが、猛然と前進するというよりはむしろ軽快で、うっすらとユーモアも感じられるのではないのでしょうか。

中間部には、ゆったりとして格調高いメロディがあらわれます。当時の国王エドワード7世からの要望で、作曲者が愛国的な歌詞を付けて頌歌に仕立てたことから、このメロディは「希望と栄光の国」の題でも知られています。イギリスでは「第二の国歌」として親しまれているそうですが、日本でも学校の卒業式などの式典によく用いられます。また、サッカーの応援歌としても世界中で愛唱されています。



エドワード7世の戴冠式を描いた絵画（エドウィン・オースティン・アビー画）

著者プロフィールは17ページをご参照ください。

※ 5月定期演奏会、開催間近! 母の日の贈り物に… ※

5月10日(水) 19:00

サントリーホール

5月12日(金) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

5月14日(日) 15:00

Bunkamura オーチャードホール

指揮: ミハイル・プレトニョフ

(東京フィル特別客演指揮者)

〈ラフマニノフ生誕150年〉

ラフマニノフ／幻想曲『岩』

ラフマニノフ／交響詩『死の島』

ラフマニノフ／交響的舞曲

【 詳しくは21ページもご覧ください 】



chie h.  
イラスト: ハラダチエ

第17回

# 渋谷の 午後のコンサート。



2023.5.7(日) 14:00開演 Bunkamura オーチャードホール

Sun. May 7, 2023, 14:00 at Bunkamura Orchard Hall

## 〈マエストロ・ズーカーマン!〉 (Maestro Zukerman!)

指揮とヴィオラとお話 ピンカス・ズーカーマン

Pinchas Zukerman, conductor, viola & speaker

ヴァイオリン 三浦文彰\* Fumiaki Miura, violin

コンサートマスター 三浦章宏 Akihiro Miura, concertmaster

モーツァルト：歌劇『魔笛』序曲(約7分)

Mozart: Overture from opera "The Magic Flute" (ca. 7 min)

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲\* (約30分)

Mozart: Sinfonia Concertante for Violin, Viola and Orchestra (ca. 30 min)

— 休憩 intermission —

ベートーヴェン：交響曲第7番(約40分)

Beethoven: Symphony No. 7 (ca. 40 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団／協力：Bunkamura  
Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra / In Association with Bunkamura

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、固くお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪ All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪ Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪ Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪ Hold applause please. Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

5/7

渋谷の  
午後のコンサート

## 出演者プロフィール

指揮とヴィオラとお話

### ピンカス・ズーカーマン

Pinchas Zukerman, conductor, viola & speaker

ピンカス・ズーカーマンは、50年の長きにわたりヴァイオリン奏者、ヴィオラ奏者、指揮者、そして室内楽奏者として世界の音楽界で不動の地位を築いている。その優れた技巧、豊かな表現、美しい音色、そして完璧なまでの音楽性は、グラミー賞ノミネート作を含む100枚を超える録音にも聴く事が出来る。近年のハイライトとしてバレンボイムとのベートーヴェン：ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会、メータとの共演によるベルリン・フィルおよびロサンジェルス・フィルへの客演等が挙げられる。後進の指導にも熱心に携わり、ズーカーマンから靈感を受けた多くの音楽家が現在演奏活動や教育活動、そして音楽祭等で中心的な役割を果たすなど各方面で活躍している。



©Cheryl Mazak

### ヴァイオリン 三浦文彰

Fumiaki Miura, violin

ハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。ロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、ベルリン・ドイツ響などと共演。共演指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマンなど。2018年サントリーホールARKクラシックスのアーティストティック・リーダーに就任。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務める。最近はピリスとのデュオ、パリにおけるリサイタルを行い、ロイヤル・フィル、ウィーン室内管との弾き振り、バルセロナ響、ビルバオ響などと共演。CDはエイベックスよりリリース。22年には「Forbes」Asiaにおいて「世界を変える30歳未満の30人」に選出。使用楽器は、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製「Viotti」。



©Yuji Hori

## プログラム・ノート

解説=飯尾洋一

### マエストロ ズーカーマンの颯爽とした指揮とともに

本日指揮を務めるマエストロはピンカス・ズーカーマン。若くしてヴァイオリン奏者として名声を高め、同時にヴィオラ奏者としても活躍しています。また、指揮活動にも積極的で、セントポール室内管弦楽団やオタワ・ナショナル・アーツ・センター・オーケストラで音楽監督を務めました。

ズーカーマンのようにヴァイオリンとヴィオラの二刀流をこなす奏者は少なくありません。モーツァルトもヴァイオリンとヴィオラをどちらも巧みに弾いたといえます。もっとも、モーツァルトがいちばん得意としていたのはピアノですから、三刀流(?)と呼ぶべきでしょうか。モーツァルトは故郷ザルツブルクの楽団でヴァイオリンリストを務め、ヴァイオリン協奏曲のソロを弾くこともありました。その後、ウィーンに移り住んでからは、ピアニストとして名声を高めています。

ちなみにベートーヴェンにもヴィオラ奏者の経験があります。ベートーヴェンも本領はピアノでしたが、ボン時代の若き日には宮廷楽団のヴィオラ奏者を務めていました。意外とヴィオラは大作曲家に人気なのかも？



巨匠と俊英による豪華共演をお楽しみください

提供=宮崎国際音楽祭 ©K. Miura

## 厳かなファンファーレから軽快なメロディへ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791)



はわずか35歳で世を去っています。生涯を閉じる1791

年、天才の創作意欲は爆発的に高まり、次々と傑作を世に送り出しました。歌劇『魔笛』もそのひとつ。劇団座長のエマヌエル・シカネーダーの提案により作曲され、モーツァルト自身の指揮による初演は好評を博し、初演から1か月あまりで20回以上も上演されるほどのヒット作となりました。

物語を一言で説明するなら、「メルヘン世界を舞台にしたボーイ・ミーツ・ガール」。王子がプリンセスを救出し、魔法の笛の力を借りて試練を乗り越えるといった筋立ては、まるでロール・プレイング・ゲームに出てきそう。ただし、物語の背景にはモーツァルト自身も会員であった秘密結社フリーメイソンの思想が色濃く反映されており、同僚愛などの教義がテーマに織りこまれているといえます。



ババゲーノを演じる劇団座長のエマヌエル・シカネーダー

序曲は荘重な序奏で開始され、これに軽快でややコミカルな主題が続きます。厳かな儀式風のファンファーレをはさんだ後、陽気な気分で曲を閉じます。

## ソロの妙技と雄大なオーケストラ・サウンドの融合

「協奏交響曲」という言葉には、あまり耳なじみがないかもしれません。協奏曲と交響曲が合体したような言葉ですが、ここでは複数のソリストがいる協奏曲を指すと考えればよいでしょう。作曲は1779年。その直前にモーツァルトは旅先のパリで、協奏交響曲が大流行している様子を目にします。そこで、故郷ザルツブルクに帰った際、この流行のスタイルを紹介しようと考えて、「ヴァイオリ



ンとヴィオラのための協奏交響曲」を作曲しました。

ソリストはヴァイオリンとヴィオラのふたり。通常であれば、高音楽器であるヴァイオリンが主、中音域を担うヴィオラは従となりそうなもの。でも、この曲ではそうはなりません。ふたりが対等な関係で名人芸を競い合うのです。

実はこの曲は普通とは少し違った方法で楽譜が書かれています。楽譜上ではほかの楽器はみんな変ホ長調で書かれているのに、独奏ヴィオラだけは半音低いニ長調で書かれています。そのまま弾いてしまうと不協和音だらけになってしまいますが、ヴィオラは通常より半音高く調弦して演奏するように指定されています。ニ音の半音上は変ホ音。つまり、実質的にほかの楽器と同じキーになって調和します。なぜわざわざそんなややこしいことを？ おそらく、弦の張力を上げてヴィオラからより明るく輝かしい音を引き出すためなのでしょう。ということは、ヴィオラを弾いたのはモーツァルト本人だったのではないかと推察できるのですが、初演についての資料は残っていません。

ふたりのソリストの妙技に加えて、雄大でシンフォニックなオーケストラ・パー



ザルツブルクにあるモーツァルトの生家。現在は博物館として、世界的に知られる観光スポットとなっている

©Posztós János - stock.adobe.com

トも聴きどころ。ウィーンへと渡る前のザルツブルク時代に書かれた作品ですが、これほど充実した作品は、天才モーツァルトといえどもそうそう書けるものではありません。奇跡のような傑作です。

**第1楽章 アレグロ・マエストーソ** わくわくするような期待感にあふれたオーケストラに続いて、ふたりのソリストが登場し、親密な音の対話をくりひろげます。

**第2楽章 アンダンテ** 前楽章から一転して沈痛なムードが支配します。陰影豊かな絶美の音楽。

**第3楽章 プレスト** はしゃぎまわるような活発なフィナーレ。まるで陽気なおしゃべりのよう。

## 躍動するリズムを駆使したベートーヴェンの人気作

年末恒例の「第九」を別格とすれば、**ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン** (1770-1827) の交響曲で現在もっとも演奏機会の多いのはこの曲でしょう。「英雄」「運命」「田園」といった愛称付きの交響曲を越える人気を誇っています。これだけの人気作なので、**交響曲第7番** にもなにか愛称があつたらいいのに……と思わなくもありません。もしあえて付けるとしたら？ 曲想からいえば「熱狂」、作風からいえば「リズム」あるいは「ダンス」でしょうか。かつて、ワーグナーはこの作品を「ダンスの神格化」と称えました。ダンスという人間の根源的な喜びが、最高度の芸術へと高められているということなのでしょう。特徴的なリズムを巧みに駆使して作品を築き上げる様は、まさに神の領域です。



作曲は1811年秋から12年春にかけて。初演は作曲者の指揮により1813年12月にウィーンにて行われました。演奏会の主な目的は傷病兵救済のためのチャリティ。当時、ヨーロッパで猛威をふるっていたナポレオン軍との戦いで傷ついた兵士たちを援助しようという名目で演奏会が開かれたのです。この演奏会では、同時にベートーヴェンの「ウェリントンの勝利」(通称「戦争交響曲」)も初演されました。この曲は現在ではほとんど演奏されませんが、ナポレオ

ンが大敗した「ビトリアの戦い」を題材としており、当時のウィーンの人々に大いに歓迎された時事的な作品です。交響曲第7番と「ウェリントンの勝利」は聴衆を熱狂させ、愛国的な雰囲気の中で大成功を収めました。

**第1楽章 ポコ・ソステヌートーヴィヴァーチェ** 堂々たる大規模な序奏で開始され、軽快な付点リズムの反復が躍動感あふれる主部を導きます。

**第2楽章 アレグレット** 痛切なメロディが粛々と奏でられ、次第に大きく高潮します。別名「不滅のアレグレット」。初演時にはアンコールを求められるほどの好評を呼びました。

**第3楽章 プレスト：アッサイ・メノ・プレスト** 鋭く弾むようなリズムで開始されます。飛び跳ねるようなスケルツォと、ひなびた田園風のトリオが交互にあられます。

**第4楽章 アレグロ・コン・ブリオ** 叩きつけるような激しいリズムを執拗にくりかえしながら、陶酔的な興奮と熱狂を呼び起こします。



ウィーン郊外のバーデンにあるベートーヴェン・ハウス・ミュージアム。バーデンは温泉地として知られ、ベートーヴェンもたびたび保養に訪れた  
©sunday\_morning - stock.adobe.com

いいお・よういち（音楽ジャーナリスト）／著書に『クラシック音楽のトリセツ』（SB新書）、『R40のクラシック』（廣済堂新書）、『マンガで教養 はじめてのクラシック』監修（朝日新聞出版）、『クラシックBOOK』（三笠書房）他。雑誌やウェブ、コンサート・プログラム等に幅広く執筆する。テレビ朝日「題名のない音楽会」他、放送でも活動。

## 次回の 午後のコンサート

お客様の質問募集中!



第30回  
平日の午後のコンサート

7月6日(木) 14:00開演  
東京オペラシティ コンサートホール  
《コバケン・クライマックス》

指揮とお話: 小林研一郎  
ピアノ: 小林亜矢乃\*

チャイコフスキー／  
ピアノ協奏曲第1番より第1楽章\*  
交響曲第4番より第1楽章  
交響曲第6番『悲愴』より第2楽章  
交響曲第5番より第4楽章 ほか



**小林研一郎** 福島県いわき市出身。名実ともに日本を代表する指揮者として第一線で活躍を続けるマエストロ。チャイコフスキーは国内外で数多くの名演を繰り広げ、交響曲全曲演奏も達成した“十八番”中の“十八番”。東京フィル「午後のコンサート」への出演も数多く、温かみあふれるトークでも人気を博す。



第18回  
渋谷の午後のコンサート

7月9日(日) 14:00開演  
Bunkamura オーチャードホール  
《コバケン・クライマックス》

指揮とお話: 小林研一郎  
ヴァイオリン: 服部百音\*

チャイコフスキー／  
ヴァイオリン協奏曲より第1楽章\*  
交響曲第4番より第1楽章  
交響曲第6番『悲愴』より第2楽章  
交響曲第5番より第4楽章 ほか

**小林亜矢乃(7/6)** 東京音楽大学、ケルン音楽院を首席卒業、多数の国際コンクールにて上位入賞。多数のオーケストラとの共演、各地の音楽祭やリサイタル、チャリティ公演やトーク付公演、音楽鑑賞教室への出演など、幅広く国内外で活躍し放送演奏にも多数出演。類稀な深みのある音楽で今後の活躍が期待されている。

**服部百音(7/9)** 5歳よりヴァイオリンを始め、8歳でオーケストラと初共演、様々な国際コンクールでグランプリ受賞。新日鉄住金音楽賞、岩谷時子賞、アリオン桐朋音楽賞、服部真二音楽賞、ホテルオークラ音楽賞、出光音楽賞、「ブルガリアウローラアワード」等多数。多くの著名楽団、指揮者と共演し国内外で演奏活動を行う。使用楽器は日本ヴァイオリンより特別貸与のガールネリ・デル・ジェス。



第97回 休日の午後のコンサート  
6月11日(日) 14:00開演  
東京オペラシティ コンサートホール

《よくばりヴァイオリン》  
指揮とお話: 出口大地  
ピアノ: 松田理奈\*

ハチャトゥリアン／  
バレエ音楽『ガイヌス』より“剣の舞”  
ヴィヴァルディ／『四季』より『春』\*  
チャイコフスキー／  
ヴァイオリン協奏曲より第1楽章\*  
メンデルスゾーン／  
ヴァイオリン協奏曲より第3楽章\*  
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

お申込み・お問合せは  
東京フィル  
チケットサービスまで

03-5353-9522 (平日10時～18時/土日祝休 発売日の土曜日のみ10時～16時営業)  
<https://www.tpo.or.jp/> (24時間受付・座席選択可)

## 午後のコンサート。2023シーズンのラインナップ

大人気シリーズ「午後のコンサート。」2023シーズンが開幕いたしました。オーケストラの名曲と音楽家のお話で楽しむ午後のひととき。今季もひきつづき、東京フィルの午後のコンサートをお楽しみください。まもなく7月・8月・9月公演の1回券を発売いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

**渋谷の午後のコンサート** 会場:Bunkamuraオーチャードホール 開演14:00

**7月9日(日)**

第18回

《コパケン・クライマックス》

指揮とお話:

小林研一郎

ヴァイオリン:

服部百音

※7月6日「平日の午後のコンサート」と一部同演目です。

1回券  
5月発売



©山本倫子

©Yuji Inagaki

**9月18日(月・祝)**

第19回

《秋の大感謝祭》

指揮とお話:

角田鋼亮

ゲスト(ピアノ):

園田隆一郎、

三ツ橋敬子

1回券  
5月発売



©Fabio Parez

©Hikaru Hoshi

©Earl Ross

**11月5日(日)**

第20回

《なんでもOKストラ!!》

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

※11月6日「平日の午後のコンサート」と同演目です。



©三浦興一

©Yuji Takeuchi

※東急百貨店本店跡地の再開発に伴い、「渋谷の午後のコンサート」は当面の間、週末の開催になります。

**平日の午後のコンサート** 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

**7月6日(木)**

第30回

《コパケン・クライマックス》

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

小林亜矢乃

※7月9日「渋谷の午後のコンサート」と一部同演目です。

1回券  
5月発売



©山本倫子

©Hiromi Uchida

**8月7日(月)**

第31回

《真夏の午後の夢》

指揮とお話:

出口大地

ピアノ:

清水和音

1回券  
5月発売



©hiro.pberg\_berlin

©Mana Miki

**11月6日(月)**

第32回

《なんでもOKストラ!!》

指揮とお話:

円光寺雅彦

ピアノ:

清塚信也

※11月5日「渋谷の午後のコンサート」と同演目です。



©三浦興一

©Yuji Takeuchi

**休日の午後のコンサート** 会場:東京オペラシティ コンサートホール 開演14:00(託児可)

**6月11日(日)**

第97回

〈よくばりヴァイオリン〉

指揮とお話:

出口大地

ヴァイオリン:

松田理奈

1回券  
発売中



©hiro.pberg\_berlin



©Akira Muto

**9月3日(日)**

第98回

〈コバケンのベートーヴェン〉

指揮とお話:

小林研一郎

ピアノ:

小林亜矢乃

1回券  
5月発売



©上野隆文



©Hiromi Uchida

**12月3日(日)**

第99回

〈クリスマス in ニューヨーク〉

指揮とお話:

円光寺雅彦

ヴァイオリン:

廣津留すみれ



©K.Miura ©Ryuto Kurokawa



曲目等詳細は東京フィルウェブサイトをご覧ください。

**午後のコンサート。 2023シーズンの発売スケジュールについて**

**◆7月・8月・9月公演1回券の発売スケジュール**

|                        |                           |
|------------------------|---------------------------|
| 最優先※お電話のみ(賛助会員様、定期会員様) | 5/16(火)10:00              |
| 優先※お電話のみ(東京フィルフレンズ会員様) | 5/20(土)10:00              |
| 優先(WEB優先発売)            | 5/20(土)10:00~5/29(月)23:59 |
| 一般発売                   | 5/30(火)10:00              |

| チケット料金        | S席     | A席     | B席     | C席     |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 1回券(定価)       | ¥5,700 | ¥4,600 | ¥3,100 | ¥2,100 |
| (東京フィルフレンズ会員) | ¥5,130 | ¥4,140 | ¥2,790 | ¥1,890 |

※1回券は4回セット券の販売後、残席ある場合のみ販売いたします。

すでに残席が少ないシリーズやセット券で完売している席種もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ・お申込み 東京フィルチケットサービス

03-5353-9522 (平日10時~18時/土日祝休 発売日の土日祝のみ10時~16時で営業)

東京フィルWEBチケットサービス <https://www.tpo.or.jp/>





## 2023シーズン 今後の定期演奏会

東京フィルの2023シーズン定期演奏会、今季も名匠と俊英のタクトのもと、活躍目覚ましい音楽家たちとの協演でお届けしています。“オペラの東京フィル”が誇る《オペラ演奏会形式》上演は、名誉音楽監督チョン・ミョンフンによるヴェルディの傑作『オテロ』(7月定期演奏会)。他にも要注目目の演目が盛りだくさんです。お聴き逃しなく！

5  
月

指揮: ミハイル・プレトニョフ

(特別客演指揮者)

第984回 5月10日(水) 19:00

サントリーホール

第154回 5月12日(金) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第985回 5月14日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

ラフマニノフ／幻想曲『岩』

ラフマニノフ／交響詩『死の島』

ラフマニノフ／交響的舞曲

(ラフマニノフ生誕150年)



◀  
聴きどころは  
こちらから

1回券発売中

6  
月

指揮: 尾高忠明 (桂冠指揮者)

ピアノ: 亀井聖矢\*

(2022年ロニーボー国際音楽コンクールピアノ部門優勝)

第155回 6月23日(金) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第986回 6月25日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

第987回 6月27日(火) 19:00

サントリーホール

尾高忠明／オーケストラのための『イメージ』

ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番\*

ラフマニノフ／交響曲第1番

(ラフマニノフ生誕150年)



◀  
聴きどころは  
こちらから

1回券発売中

7  
月

指揮: チョン・ミョンフン

(名誉音楽監督)

第988回 7月23日(日) 15:00

Bunkamuraオーチャードホール

第156回 7月27日(木) 19:00

東京オペラシティ コンサートホール

第989回 7月31日(月) 19:00

サントリーホール

ヴェルディ／歌劇『オテロ』

◆ オペラ演奏会形式 ◆

オテロ: グレゴリー・クンデ

デズデーモナ: 小林厚子

イアーゴ: ダリボール・イエニス

ロドヴィーコ: 相沢 創

カッシオ: フランチェスコ・マルシーリア

エミーリア: 中島郁子

ロデリーゴ: 村上敏明

モンターノ: 青山 貴

伝令: タン・ジュンボ

合唱: 新国立劇場合唱団 (合唱指揮: 富平恭平)



◀  
聴きどころは  
こちらから

1回券発売中

10  
月

**指揮: クロエ・デュフレヌ**  
(2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞)

**ヴァイオリン: 中野りな\***  
(2022年仙台国際音楽コンクール優勝)

第157回 10月18日(水) 19:00  
東京オペラシティ コンサートホール

第990回 10月19日(木) 19:00  
サントリーホール

第991回 10月22日(日) 15:00  
Bunkamuraオーチャードホール

リリ・ブーランジェ／春の朝に  
(リリ・ブーランジェ生誕130年)  
サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番\*  
ベルリオーズ／幻想交響曲



聴きどころは  
こちらから

1回券発売中

11  
月

**指揮: アンドレア・バッティストーニ**  
(首席指揮者)  
**チェロ: 佐藤晴真\***  
(2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝)

第992回 11月10日(金) 19:00  
サントリーホール

第993回 11月12日(日) 15:00  
Bunkamuraオーチャードホール

第158回 11月16日(木) 19:00  
東京オペラシティ コンサートホール

チャイコフスキー／幻想曲『テンペスト』  
チャイコフスキー／  
ロココの主題による変奏曲\*  
チャイコフスキー／幻想序曲『ハムレット』  
チャイコフスキー／  
幻想序曲『ロメオとジュリエット』  
(チャイコフスキー没後130年)



聴きどころは  
こちらから

1回券発売中

お問い合わせ 東京フィルチケットサービス

Tel 03-5353-9522 (平日10時～18時・土日祝日休／  
発売日の土日祝は10時～16時)  
URL [www.tpo.or.jp/](http://www.tpo.or.jp/)(24時間受付・座席選択可)

詳細は



## News &amp; Information

## 軽井沢大賀ホールクラシックス2023 開催決定!

## ◆阪田知樹ピアノ・リサイタル

日時・会場 8月12日(土)15:00開演(14:15開場) 軽井沢大賀ホール  
 出演 阪田知樹(ピアノ)※東京フィルハーモニー交響楽団の出演はありません。  
 曲目 ショパン／24の前奏曲Op.28  
 リスト／巡礼の年第2年「イタリア」S.161/R.10 より 他



©HIDEKI NAITO

## ◆奇跡のチェロ・アンサンブル2023

日時・会場 8月13日(日)15:00開演(14:15開場)  
 軽井沢大賀ホール  
 出演 辻本玲、横坂源、伊藤悠貴、小林幸太郎、  
 岡本侑也、上野通明(チェロ)  
 ※東京フィルハーモニー交響楽団の出演はありません。

曲目 クレンゲル／讃歌  
 グリーグ／組曲『ホルベアの時代から』  
 サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリチオーソ  
 ピアソラ／ブエノスアイレスの四季 ～『夏』『秋』『冬』『春』 他



©Takashi Okamoto ©Charlie tteFielding



©Yuji Hori ©Shigeto Imura

料金(各公演共通・全席指定・税込)

SS席¥8,000 S席(1階・2階)¥7,000 A席¥6,000 B席¥4,500  
 W席(2階合唱席)¥3,000 C席(2階立見席)¥2,500

チケット発売日 4月22日(土)

チケット問合せ 軽井沢大賀ホールチケットサービス 0267-31-5555(10:00～18:00)

主催：軽井沢大賀ホールCLASSICS実行委員会(実行委員長 大賀緑)／協賛：東通産業株式会社／協力：  
 公益財団法人軽井沢大賀ホール、公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団、ハーベスト・コンサート／後  
 援：軽井沢町、軽井沢町教育委員会

## 4月より打楽器に秋田孝訓(あきた たかのり)が入団いたしました。

「みなさま、はじめまして、打楽器の秋田孝訓です。伝統あるオーケストラの一員となれる事を大変誇りに思います。クラシカルなものはもちろん、JAZZなども大好きなので、バレエ、オペラからポップスまで幅広いジャンルの音楽をこのオーケストラの中で演奏出来る事がとても楽しみです。みなさまに感動していただけるような音楽の一部になれるよう日々精進していきたいと思います。お客様、オーケストラの皆様、これからどうぞ宜しくお願い致します」。



## Photo Reports 2023年3月の演奏会より

3月の定期演奏会には首席指揮者アンドレア・バッティストーニが登場、マエストロの故郷イタリアとフランスを繋ぐ3曲の管弦楽作品をお届けしました。また新宿区、静岡県磐田市に登場。市民合唱団との共演で2つの合唱付き作品を奏でました。

写真=寺司正彦(3/9)/上野隆文(3/10, 12)

### 3月定期演奏会(3/9, 10, 12)

指揮：アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)

オルガン：石丸由佳\*

コンサートマスター：近藤 薫

ベルリオーズ／序曲『ローマの謝肉祭』

カゼッラ／狂詩曲『イタリア』(カゼッラ生誕140年)

サン＝サーンス／交響曲第3番『オルガン付き』\*



今回も表情豊かに、かつ精緻にオーケストラを牽引したマエストロ(3/12)



初日は東京オペラシティコンサートホールにて。美しいオルガンの音が響きました(3/9)



カゼッラの狂詩曲『イタリア』では、シチリアやナポリの民謡から採られたメロディが組み込まれ、イタリアの歴史の光と影が鮮やかに描かれました(3/12)

## ご報告

3月12日オーチャード定期演奏会の開演前には、賛助会員様・定期会員様をお招きし公開リハーサルを開催しました。リハーサル後のマエストロのトークでは「会場によって響きが変わるので、それぞれのホールに最適な音をチェックする」など秘訣が語られ、来場者からは「マエストロのこだわりを知ることができた」「オーケストラの工場見学のように興味深かった」などご好評いただきました。



集中力の高いリハーサルを終え、賛助会員・定期会員の皆様にご挨拶するマエストロ

## 新宿文化センター× 東京フィルハーモニー交響楽団 ベルリオーズ「レクイエム」(3/18)

指揮：アンドレア・バッティストーニ  
テノール：宮里直樹  
合唱：新宿文化センター合唱団  
(合唱指導／山神健志)  
コンサートマスター：三浦章宏

ベルリオーズ／レクイエム



巨大な編成を要し、減多に演奏されないベルリオーズの大曲を新宿文化センター合唱団の皆様と共演

©スタッフ・テス

東京フィルだより

## 東京フィルハーモニー交響楽団と市民合唱団が高らかに奏でる『第九』(3/21)

指揮：アンドレア・バッティストーニ  
ソプラノ：中井奈穂 メゾソプラノ：山下裕賀  
テノール：清水徹太郎 バス：上江隼人  
合唱：メモリアル「第九」合唱団  
コンサートマスター：三浦章宏

ブラームス／大学祝典序曲  
ベートーヴェン／交響曲第9番二短調『合唱付き』

静岡県磐田市民文化会館「かたりあ」開館を記念して結成されたメモリアル「第九」合唱団との共演で、新たな文化の拠点のオープンを祝いました

## 心に響く音楽体験

——物心ついた時に側にあったのは、  
バロック音楽でした。

ASEAN 歯科医療ネットワーク 代表理事  
和久本 歯科医院 院長  
和久本 雅彦



東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第14回は、歯科医師として医院経営しつつ、ASEAN地域の歯科医療に携わる和久本雅彦様です。パートナー会員として東京フィルをご支援くださっています。物心ついたときに触れたバロック音楽の思い出を綴ってくださいました。



物心ついた時、父の仕事の関係で、デンマークのコペンハーゲンに住んでいました。父は旅行が好きで、休みのたびに家族で列車の旅をしました。特にウィーンは、足繁く訪れた街の一つでした。当時から好奇心旺盛だった自分は、ベートーヴェンハウスや、シューベルトの生家に展示されていたピアノを触って怒られたりしました。

母は音大の音楽科を卒業し、日本に帰国後は演奏活動をしながら最近まで弟子を取って教えていました。自分が物心ついた時に住んでいた家も、1階がレッスン室や歯科の診療所、2階が自宅という作りでしたので、毎晩布団に入ると枕越しに母が自分で練習する歌が聞こえていたのを覚えています。

そんな家庭でしたので、家にいる時にはほとんど一人で遊んでいました。そんな自分に母が買い与えてくれたのが、簡単なレコードプレイヤーと、もう散逸してしまいましたが、当時どこかの出版社から発売されていた「偉大なクラシック音楽家の生涯」というようなタイトルのシリーズのレコードでした。このレコードは、1965年くら



2022年11月、教え子のクリニックでベトナムホーチミン市の保育園児の検診を行いました。大きな体は子供たちに大人気で、終わった後もなかなか離れてくれませんでした



いから発売されたようで、7～8年は続いたでしょうか。ドラマ仕立てて作曲家の生涯をその代表曲を挿入して辿るもので、第1巻が「ヘンデル」次が「バッハ」で、全部で20巻くらいあったと思います。

中でも、自分が好んで聞いていたのは、バッハとヘンデルでした。還暦を過ぎた今でも、断片的ですがこの2枚のレコードの曲や台詞は、時折思い出すほどです。内容が一番残っているのは、ヘンデルです。ドラマの最初のクライマックスである『水上の音楽』が流れるくだりには毎回ドキドキして、ワクワクが止まりませんでした。自分にとってのクラシックはバロック音楽であったと言えます。

自分は「門前の小僧」でピアノを嗜みますが、生まれて初めて弾いたのは、バッハの「メヌエット」でした。和音ではなく、単純な音の繋がりがとても好きでした。ベトナム、ホーチミン市の自分のオフィスの受付には古いアップライトピアノがあり、時々スタッフに内緒で触っています。

32歳の時にご縁をいただいて英国で勤務するようになってからは、ヘンデルの足跡を辿って、墓所のウェストミンスター寺院を始め、ハイマーケット劇場などへ足を運びました。

数年前より、ご縁をいただいて東京フィルハーモニー交響楽団の支援者をさせていただいていますが、東京電機大学時代、音響効果の確認のため、音場計測をさせていただいたサントリーホールに足繁く通える喜びを満喫させていただいています。コロナ前の改修で反射板が新しくなり、金管楽器の響きが一層良くなったように思います。

和久本雅彦(わくもと・まさひこ)

歯科医師の父と、声楽家の母との間に生まれる。歯科医師免許取得後、工学部で音響工学を学ぶ。英国、ドイツ、アメリカ等で勤務後、2007年和久本歯科医院の4代目院長に就任。専門は音響音声学のため、通院される声楽家、楽団員の方も多い。2012年にASEAN歯科医療ネットワークを設立。発展途上国の歯科教育に献身している。

木々が芽吹きはじめる新緑の候、  
皆様におかれましてはますますご健勝のことと存じます。  
今月はマエストロとソリスト、楽団員が奏でる色彩豊かな演奏を  
心ゆくまでお楽しみください。  
引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



東京フィルハーモニー交響楽団 理事長 三木谷 浩史

## 賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。  
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、  
改めて御礼申し上げます。

### オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

|             |              |        |
|-------------|--------------|--------|
| ソニーグループ株式会社 | 代表執行役 会長 CEO | 吉田 憲一郎 |
| 楽天グループ株式会社  | 代表取締役会長兼社長   | 三木谷 浩史 |
| 株式会社マルハン    | 代表取締役 会長     | 韓 昌祐   |
| 株式会社ロッテ     | 代表取締役社長執行役員  | 牛腸 栄一  |
| 株式会社ゆうちょ銀行  | 取締役兼代表執行役社長  | 池田 憲人  |

### 法人会員

#### 賛助会員（五十音順・敬称略）

|                            |                                 |                                   |
|----------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| (株)IIIH<br>代表取締役社長 井手 博    | (株)インターテキスト<br>代表取締役 海野 裕       | (公財)オリックス宮内財団<br>代表理事 宮内 義彦       |
| (株)アイエムエス<br>取締役会長 前野 武史   | ANAホールディングス(株)<br>代表取締役社長 芝田 浩二 | カシオ計算機(株)<br>代表取締役 会長 樫尾 和宏       |
| (医)相澤内科医院<br>理事長 相澤 研一     | (株)NHKエンタープライズ<br>代表取締役社長 松本 浩司 | キヤノン(株)<br>代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫 |
| アイ・システム(株)<br>代表取締役会長 松崎 務 | 大塚化学(株)<br>特別相談役 大塚 雄二郎         | (株)グリーンハウス<br>代表取締役社長 田沼 千秋       |
| (株)アシックス<br>取締役会長 尾山 基     | (株)オーディオテクニカ<br>代表取締役社長 松下 和雄   | サントリーホールディングス(株)<br>代表取締役社長 新浪 剛史 |

信金中央金庫  
理事長 柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING  
代表取締役 遅澤 准

(株)滋慶  
代表取締役社長 田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー  
代表取締役社長 金田 直己

菅波楽器(株)  
代表取締役社長 菅波 康郎

相互物産(株)  
代表取締役会長 小澤 勉

ソニーグループ(株)  
代表執行役 会長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)  
代表取締役社長 萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント  
代表取締役社長CEO 村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店  
代表取締役社長 澤田 太郎

都築学園グループ  
総長 都築 仁子

東急(株)  
取締役社長 高橋 和夫

東京オペラシティビル(株)  
代表取締役社長 長島 誠

東レ(株)  
代表取締役社長 日覺 昭廣

TOPPANエッジ(株)  
代表取締役社長 添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)  
代表取締役社長 関口 明

(株)ニチケアパレス  
代表取締役社長 秋山 幸男

(株)ニフコ  
代表取締役会長 山本 利行

日本ライフライン(株)  
代表取締役社長 鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル  
代表取締役 新井 秀之

富士電機(株)  
代表取締役会長 CEO 北澤 通宏

(株)不二家  
代表取締役社長 河村 宣行

(株)三井住友銀行  
頭取CEO 福留 朗裕

三菱地所(株)  
執行役社長 中島 篤

三菱倉庫(株)  
相談役 宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行  
特別顧問 小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)  
代表取締役 田中 めぐみ

(株)明治  
代表取締役社長 松田 克也

森ビル(株)  
代表取締役社長 辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)  
代表取締役社長 長尾 裕

(株)山野楽器  
代表取締役社長 山野 政彦

ユニオンツール(株)  
代表取締役会長 片山 貴雄

(医)ユベンシア  
理事長 今西 宏明

楽天グループ(株)  
代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史

(株)リソー教育  
取締役会長 岩佐 実次

## 後援会員

(株)アグレックス  
代表取締役社長 山本 修司

(医)エレルソ たにぐちファミリークリニック  
理事長 谷口 聡

欧文印刷(株)  
代表取締役社長 和田 美佐雄

(有)オルテンシア  
代表取締役 雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院  
理事長 加藤 徹

(医)だて内科クリニック  
理事長 伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺  
代表役員 若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会  
代表理事 金子 眞吾

(株)トレミール  
代表取締役 茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス  
代表取締役会長兼社長 吉田 雅俊

富士通(株)  
代表取締役社長 時田 隆仁

本田技研工業(株)  
取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

三菱電機(株)  
執行役社長 漆間 啓

## ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年（明治44年）に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいち早く受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後さらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いっそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（次ページ）も併せてご覧ください。

| 金融機関名                 | 口座番号            | 口座名義               |
|-----------------------|-----------------|--------------------|
| ゆうちょ銀行（郵便振替）          | 00120-2-30370   | 公益財団法人             |
| 三井住友銀行・<br>東京公務部(096) | 普通預金<br>3003239 | 東京フィルハーモニー<br>交響楽団 |

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。

※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。

※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。

[https://www.tpo.or.jp/support/img/support\\_TPO.pdf](https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf)



### 【ご支援のお問合せ／寄附申込書 送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団・広報渉外部 寄附担当  
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8階  
Fax 03-5353-9523 Eメール: [partner@tpo.or.jp](mailto:partner@tpo.or.jp)  
Tel 03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

## 東京フィル 賛助会 会員募集中

2023年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立112年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後とも社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

## 賛助会(法人／パートナー(個人))会員の種別

| 種別            |             | 年会費1口          |
|---------------|-------------|----------------|
| オフィシャル・サプライヤー |             | 詳細はお問い合わせください。 |
| 法人会員          | 賛助会員        | 50万円           |
|               | 後援会員        | 30万円           |
|               | ワンハンドレッドクラブ | 100万円          |
|               | フィルハーモニー    | 50万円           |
| パートナー会員       | シンフォニー      | 30万円           |
|               | コンチェルト      | 10万円           |
|               | ラプソディ       | 5万円            |
|               | インテルメッツォ    | 3万円            |
|               | プレリュード      | 1万円            |

※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。  
その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当(partner@tpo.or.jp)までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

## 【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部 (担当: 星野<sup>かのまた</sup>・鹿丈)

電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

## フランチャイズ・ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ・ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

## 文化庁「文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演事業」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道・東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童・生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東・東海・中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童・生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度からは、「文化芸術による子供育成推進事業」と事業名が変更となり、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受け5月から12月にかけて、小中学校14校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催しました。



小学校体育館でのオーケストラ本公演

## 留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。



定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン・ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文



## 特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンラインワンの特別企画を展開しております。

- 商品のプロモーションとして何か施策を考えたい
- 社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい
- 東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい
- 新製品、サンプルを会場で販売・配布したい

どうぞお気軽にご用命ください。



日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

【広告・協賛のお問合せ】 東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部  
電話: 03-5353-9521 (平日10時～18時) Eメール: [partner@tpo.or.jp](mailto:partner@tpo.or.jp)

## 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策へのご協力をお願い

演奏会の開催にあたり、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い対策を講じております。引き続きのご協力をお願い申し上げます。



ロビーや客席内での混雑回避にご協力ください。

会場内ではマスクの着用が推奨されております

(マスクの着脱はお客様のご判断でお願いいたします)。

入場時の検温・場内での咳エチケットのご協力をお願いいたします。

頻回の手洗い・手指の消毒をお願いいたします。

客席内は十分な換気・清拭を行っております。

ご協力、誠にありがとうございます。

# 東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員

Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督  
Honorary Music Director

チョン・ヨンフン  
Myung-Whun Chung

首席指揮者  
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ  
Andrea Battistoni

桂冠指揮者  
Conductor Laureate

尾高 忠明  
Tadaaki Otaka

大野 和士  
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー  
Dan Ettinger

特別客演指揮者  
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ  
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター  
Associate Conductor

チョン・ミン  
Min Chung

永久名誉指揮者  
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄  
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者  
Permanent Member and  
Honorary Conductor

大賀 典雄  
Norio Ohga

コンサートマスター  
Concertmasters

近藤 薫  
Kaoru Kondo

三浦 章宏  
Akihiro Miura

依田 真宜  
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン  
First Violins

小池 彩織☆  
Saori Koike

榊原 菜若☆  
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆  
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆  
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之  
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里  
Eri Urata

景澤 恵子  
Keiko Kagesawa

加藤 光  
Hikaru Kato

巖築 朋美  
Tomomi Ganchiku

坂口 正明  
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久  
Saku Suzuki

高田 あきの  
Akino Takada

田中 秀子  
Hideko Tanaka

栃本 三津子  
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀  
Miki Nakazawa

中丸 洋子  
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美  
Ikumi Hirotsawa

弘田 聡子  
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子  
Misako Fujise

松田 朋子  
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン  
Second Violins

藤村 政芳◎  
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎  
Michi Mizutori

宮川 正雪◎  
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆  
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆  
Mayuko Takase

石原 千草  
Chigusa Ishihara

出原 麻智子  
Machiko Idehara

太田 慶  
Kei Ota

葛西 理恵  
Rie Kasai

佐藤 実江子  
Mieko Sato

二宮 祐子  
Yuko Ninomiya

本堂 祐香  
Yuuka Hondo

山代 裕子  
Yuko Yamashiro

吉田 智子  
Tomoko Yoshida

吉永 安希子  
Akiko Yoshinaga

若井 須和子  
Suwako Wakai

渡邊 みな子  
Minako Watanabe

ヴィオラ  
Violas

須田 祥子◎  
Sachiko Suda

須藤 三千代◎  
Michio Suto

高平 純◎  
Jun Takahira

加藤 大輔○  
Daisuke Kato

今川 結☆  
Yui Imagawa

杉浦 文☆  
Aya Sugiura

伊藤 千絵  
Chie Ito

岡保 文子  
Ayako Okayasu

曾和 万里子  
Mariko Sowa

高橋 映子  
Eiko Takahashi

手塚 貴子  
Takako Tezuka

中嶋 圭輔  
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子  
Tazuko Hirumi

古野 敦子  
Atsuko Furuno

村上 直子  
Naoko Murakami

森田 正治  
Masaharu Morita

| チェロ<br>Cellos              | コントラバス<br>Contrabasses      | オーボエ<br>Oboes                             | ホルン<br>Horns                 | トロンボーン<br>Trombones                        | ハープ<br>Harps                 |
|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------------|------------------------------|
| 金木 博幸◎<br>Hiroyuki Kanaki  | 片岡 夢児◎<br>Yumeji Kataoka    | 荒川 文吉◎<br>Bunkichi Arakawa                | 齋藤 雄介◎<br>Yusuke Saito       | 中西 和泉◎<br>Izumi Nakanishi                  | 梶 彩乃<br>Ayano Kaji           |
| 服部 誠◎<br>Makoto Hattori    | 黒木 岩寿◎<br>Iwahisa Kuroki    | 加瀬 孝宏◎<br>Takahiro Kase                   | 高橋 臣宜◎<br>Takanori Takahashi | 辻 姫子◎<br>Himeko Tsuji                      | 田島 緑<br>Midori Tajima        |
| 渡邊 辰紀◎<br>Tatsuki Watanabe | 遠藤 柁一郎<br>Shuichiro Endo    | 佐竹 正史◎<br>Masashi Satake                  | 磯部 保彦<br>Yasuhiko Isobe      | 石川 浩<br>Hiroshi Ishikawa                   | ライブラリアン<br>Librarians        |
| 黒川 実咲☆<br>Misaki Kurokawa  | 小笠原 茅乃<br>Kayano Ogasawara  | 杉本 真木<br>Maki Sugimoto                    | 大東 周<br>Shu Ohigashi         | 五箇 正明<br>Masaaki Goka                      | 武田 基樹<br>Motoki Takeda       |
| 高麗 正史☆<br>Masashi Korai    | 岡本 義輝<br>Yoshiteru Okamoto  | 若林 沙弥香<br>Sayaka Wakabayashi              | 木村 俊介<br>Shunsuke Kimura     | 平田 慎<br>Shin Hirata                        |                              |
| 石川 剛<br>Go Ishikawa        | 小栗 亮太<br>Ryota Oguri        |                                           | 田場 英子<br>Eiko Taba           | 山内 正博<br>Masahiro Yamauchi                 |                              |
| 大内 麻央<br>Mao Ouchi         | 熊谷 麻弥<br>Maya Kumagai       | クラリネット<br>Clarinets                       | 塚田 聡<br>Satoshi Tsukada      |                                            | ステージマネージャー<br>Stage Managers |
| 太田 徹<br>Tetsu Ota          | 菅原 政彦<br>Masahiko Sugawara  | アレッサンドロ・<br>ベヴェラリ◎<br>Alessandro Beverari | 豊田 万紀<br>Maki Toyoda         | テューバ<br>Tubas                              | 稲岡 宏司<br>Hiroshi Inaoka      |
| 菊池 武英<br>Takehide Kikuchi  | 田邊 朋美<br>Tomomi Tanabe      | 万行 千秋◎<br>Chiaki Mangyo                   | 山内 研自<br>Kenji Yamanouchi    | 大塚 哲也<br>Tetsuya Otsuka                    | 大田 淳志<br>Atsushi Ota         |
| 佐々木 良伸<br>Yoshinobu Sasaki | 中村 元優<br>Motomasa Nakamura  | 黒尾 文恵<br>Fumie Kuroo                      | 山本 友宏<br>Tomohiro Yamamoto   | 荻野 晋<br>Shin Ogino                         | 古谷 寛<br>Hiroshi Furuya       |
| 長谷川 陽子<br>Yoko Hasegawa    |                             | 林 直樹<br>Naoki Hayashi                     |                              |                                            |                              |
| 渡邊 文月<br>Fuzuki Watanabe   | フルート<br>Flutes              |                                           | トランペット<br>Trumpets           | ティンパニー&<br>パーカッション<br>Timpani & Percussion |                              |
|                            | 神田 勇哉◎<br>Yuya Kanda        | ファゴット<br>Bassoons                         | 川田 修一◎<br>Shuichi Kawata     | 岡部 亮登◎<br>Ryoto Okabe                      |                              |
|                            | 斉藤 和志◎<br>Kazushi Saito     | チェ・ヨンジン◎<br>Young-Jin Choe                | 野田 亮◎<br>Ryo Noda            | 塩田 拓郎◎<br>Takuro Shiota                    |                              |
|                            | 吉岡 アカリ◎<br>Akari Yoshioka   | 廣幡 敦子◎<br>Atsuko Hirohata                 | 古田 俊博◎<br>Toshihiro Furuta   | 秋田 孝訓<br>Takanori Akita                    |                              |
|                            | さかはし 矢波<br>Yanami Sakahashi | 井村 裕美<br>Hiromi Imura                     | 杉山 眞彦<br>Masahiko Sugiyama   | 木村 達志<br>Tatsushi Kimura                   |                              |
|                            |                             | 桔川 由美<br>Yumi Kikkawa                     | 前田 寛人<br>Hirohito Maeda      | 鷹羽 香緒里<br>Kaori Takaba                     |                              |
|                            |                             | 森 純一<br>Junichi Mori                      |                              | 中村 勇輝<br>Yuki Nakamura                     |                              |
|                            |                             |                                           |                              | 縄田 喜久子<br>Kikuko Nawata                    |                              |
|                            |                             |                                           |                              | 船迫 優子<br>Yuko Funasako                     |                              |
|                            |                             |                                           |                              | 古谷 はるみ<br>Harumi Furuya                    |                              |

◎首席奏者  
Principal○副首席奏者  
Assistant Principal☆フオアシュピラー  
Vorspieler

## 東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルバスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

## Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS <https://www.tpo.or.jp/>    



©上野隆文

東京フィルWEB



## 役員等・事務局・団友

## 役員等(理事・監事および評議員)

| 理事長    | 理事     | 監事    | 評議員    |
|--------|--------|-------|--------|
| 三木谷 浩史 | 浮舟 邦彦  | 岩崎 守康 | 伊東 信一郎 |
|        | 大賀 昭雄  | 山野 政彦 | 海老澤 敏  |
| 副理事長   | 大塚 雄二郎 |       | 佐治 信忠  |
| 黒柳 徹子  | 小山田 隆  |       | 鈴木 勲   |
| 専務理事   | 篠澤 恭助  |       | 鈴木 啓介  |
| 石丸 恭一  | 田沼 千秋  |       | 瀬谷 博道  |
|        | 寺田 琢   |       | 日枝 久   |
| 常務理事   | 遠山 敦子  |       |        |
| 工藤 真実  | 野本 弘文  |       |        |
|        | 韓 昌祐   |       |        |
|        | 平井 康文  |       |        |
|        | 宮内 義彦  |       |        |

## 事務局

| 楽団長   | 公演事業部  | ステージマネージャー | ライブラリアン | 広報渉外部  | 総務・経理 |
|-------|--------|------------|---------|--------|-------|
| 石丸 恭一 | 市川 悠一  | 稲岡 宏司      | 武田 基樹   | 伊藤 唯   | 川原 明夫 |
|       | 岩崎 井織  | 大田 淳志      |         | 鹿又 紀乃  | 鈴木 美絵 |
| 事務局長  | 大久保 里香 | 古谷 寛       |         | 千木 加寿子 |       |
| 工藤 真実 | 大谷 絵梨奈 |            |         | 二木 憲史  |       |
|       | 佐藤 若菜  |            |         | 星野 友子  |       |
|       | 村尾 真希子 |            |         | 松井 ひさえ |       |
|       |        |            |         | 安田 ひとみ |       |

## 団友

|        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 安藤 栄作  | 大和田 皓  | 河野 啓子  | 清水 真佐子 | 長池 陽次郎 | 古野 淳   |
| 池田 敏美  | 岡部 純   | 近藤 勉   | 瀬尾 勝保  | 長岡 慎   | 細川 克己  |
| 糸井 正博  | 小樽 敦子  | 今野 芳雄  | 高岩 紀子  | 長倉 穰司  | 細洞 寛   |
| 今井 彰   | 小山 智子  | 齊藤 匠   | 高野 和彦  | 新田 清枝  | 本田 詩子  |
| 井料 和彦  | 甲斐沢 俊昭 | 坂口 和子  | 高村 千代子 | 新田 伸雄  | 松澤 久美子 |
| 岩崎 龍彦  | 加藤 明広  | 嵯峨 正雄  | 竹林 良   | 二宮 純   | 湊 貞男   |
| 植木 佳奈  | 加藤 博文  | 嵯峨 美穂子 | 竹林 陽子  | 野仲 啓之助 | 宮原 真弓  |
| 上野 眞行  | 金崎 真由美 | 桜木 弘子  | 田中 千枝  | 畑中 和子  | 山屋 房子  |
| 生方 正好  | 川人 洋二  | 笹 翠    | 田村 武雄  | 玻名城 昌子 | 吉田 啓義  |
| 大兼久 輝宴 | 木村 友博  | 佐々木 等  | 津田 好美  | 福村 忠雄  | 米倉 浩喜  |
| 大澤 昌生  | 黒川 正三  | 佐野 恭一  | 戸坂 恭毅  | 藤原 勲   | 脇屋 俊介  |

〈発行日〉2023(令和5)年5月1日 〈発行人〉石丸 恭一

〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団

〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523

フランチャイズ・ホール: Bunkamuraオーチャードホール 提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市

〈デザイン〉米田デザイン事務所 〈表紙画〉ハラダチエ 〈編集協力〉ひとま舎

〈印刷〉歐文印刷株式会社

©Tokyo Philharmonic Orchestra \*無断転載を禁ず(非売品)

Afternoon Concerts 2023 season

